

第651号
7月号/2020年

群馬中央医療生活協同組合
発行 371-0811 前橋市朝倉町830-1
発行人 長谷川敦子 TEL 027-265-3531
編集 ぐらしと健康編集委員会 FAX 027-265-3532
http://www.kyouritsu.org/

定価 1部 30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)

くらしと健康

医療費でお困りの方ご相談ください
無料・低額診療事業行っています

前橋協立病院 TEL:027-265-3511
太田協立診療所 TEL:0276-45-4911
前橋協立診療所 TEL:027-231-6060
桐生協立診療所 TEL:0277-53-3911
協立歯科クリニック TEL:027-265-6601



ありますが、その代わり

このような背景から組

仕組み

合員同士が気軽に助け合いが出来る仕組みはないかと検討が始まりました。全国の20力所以上の医療生協から資料を取り寄せ、それを組合員同士の会議で検討を重ね、「群中助け合いの会運営指針」が昨年秋にが出来

上がった。主な内容としては ①保険制度を担保し支援者も依頼者も安心の体制 ②費用は1単位30分で参百円 ③依頼内容は「ゴミ出し、草刈り、お掃除、通院の付き添い(自車に乗せての送迎はしません)、役所の手続き代行など多岐にわたります。(専門性の高い内容は専門職を紹介し、詳しい内容は地域ごとの「ちよこつと助け合いの会」資料に依ります)

現況・事例紹介

現在前橋地区と桐生地区で「ちよこつと助け合いの会」が発足しております。更に大泉地区でも会の発足が計画されております。

前橋地区で組合員の方から受けた依頼の一つを紹介させていただきます。「何でも依頼してください」と声を掛けてのスタートだったのですが、「自分史を作りたい」との依頼でスタッフも驚いたのですが、依頼第一号でもあり、という事で引き受けました。個人

史でありプライバシー保護がありますので詳しくは報告できませんが概略だけ紹介させて頂きま。戦前生まれの年齢90歳男性、専門職で全国の土木工事現場で働き定年後は群馬に落ち着かれました。兄弟が多い中、兄2人は戦死、まさに戦中戦後の多くの苦勞を乗り越えて現在は夫婦で穏やかな毎日を送っておられるという方でした。一単位30分300円というながら、延べ時間30時間及び聞き取り文章作成となりました。依頼第一号と言いつつも忘れられない依頼内容となりました。ともかく「なんでも引き受けます」のモットーだけは貫き通せたかなとスタッフ一同ほっとしております。

今後は

群馬中央医療生協と連携しているNPO法人「かけはし」があります。群馬中央医療生協のOBの皆さんが中心となり作り運営しております。今回の助け合いの会の運営

ちよこつと助け合いの会 組合員同士の支援組織として



理事 新井隆夫

背景

少子高齢社会に突入し高齢者のみの世帯の急増、更には独居高齢者世帯もこれから更に増えていくことが予想されます。群馬中央医療生協の組合員同士でも高齢化に伴う生活の困難事が増え、日常生活のチヨットした困りごとがあっても頼める人がいなくて困っているとの声が多く聞かれます。かつては、多世代同居世帯も多く、冠婚葬祭などを言めてのご近所付き合いもありふれた風景でした。介護保険ができて介護の社会化が図られるなど良かった面も

に身近な助け合い、見守り合いがどんどん少なくなっているのは残念です。介護保険制度ではここから先は出来ません」と言われ介護ヘルパーさんが自宅に来て、目の前の「ちよこつと助け合い」をお願いできない、ヘルパーさんも「お手伝いをしたくても規則でやってあげられない」そのジレンマに悩まされていると聞きます。その一方困り事の解決で過分なお礼をいただいている方もあるがどうしたら良いかとの相談もありま

上がりました。主な内容としては ①保険制度を担保し支援者も依頼者も安心の体制 ②費用は1単位30分で参百円 ③依頼内容は「ゴミ出し、草刈り、お掃除、通院の付き添い(自車に乗せての送迎はしません)、役所の手続き代行など多岐にわたります。(専門性の高い内容は専門職を紹介し、詳しい内容は地域ごとの「ちよこつと助け合いの会」資料に依ります)

指針も「かけはし」の活動内容を大いに参考とさせて頂いていただきました。私たちの会は「かけはし」のように車での送迎は出来ませんが、基本の「なんでも困ったを支援する」の精神はしっかりと見習っての方針としました。

新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言は助け合いの会の活動にも大きく影響され、「こんな時こそ助け合い」と思いながら、訪問、対面などが制限され活動もままならない状態が続いております。ウィズコロナなる新

す。気になる組合員さんのポストに葉書や、メモをお届けして連絡をして頂く、近所の組合員さんから気になる組合員さん情報を取くなど、工夫を重ねていきたいと思

●コロナなんでも電話相談●

相談日：2020年7月18日(土)
午前9時～12時30分 午後1時30分～5時

組合員さんや地域のみなさんの困りごとや不安なことについて「なんでも電話相談」を実施いたします。くらしや健康面での不安や困りごとを抱えている方、話を聞いてほしいという方、ぜひお気軽に下記までご連絡ください。

連絡先：TEL027-265-6988 TEL090-7270-7645 TEL0276-45-4989

コロナ危機を乗り越えるための増資運動へのご協力を呼びかけます。

*訴え文は3面に掲載しています。

▲国内で初めて新型コロナウイルス感染者が見つかったのは、今年の1月14日。PCR検査の準備も整った中、感染拡大が国内でも広がりをみせ、帰国者・接触者センターが設置されたにもかかわらず既に各地の保健所は十分な機能を果たすことができない状態となっていました。▲この感染対策の初動の遅れの原因はどこに、あるのでしょうか。政府は「行革・構造改革」の名のもとに、感染症の時代は終わったとして、保健所の体制を弱めてきたのです。全国の保健所は1992年の852カ所から2019年には472カ所も削減し、職員数も約3万4千人に激減させてきました。▲さらに、感染症の専門機関である国立感染症研究所は10年前と比べて約20億円、3分の2まで予算を減らし、職員も大幅に削減されました。合わせて、高度急性期の病床を持つ公立・公的病院のうち424病棟の再編統合検討を迫っているのです。▲今後、急速に感染が拡大した時期には、群馬県のコロナ病棟は170床のみですが、軽症者でベッドが埋まり、重症者が受け入れられなくなる心配が生まれます。▲いま、政府が行うべきことは、国民の命と暮らしを危険にさらす一方的な病床削減ではなく、医師、看護師、介護士の担い手を増やし、いつでもどこでも安心して十分な医療・介護が受けられる体制を国と自治体で充実させることです。(笠原)



わたしたちの理念:「一人ひとりのいのちが大切にされ、平和と人権が尊重されるまちづくり」に貢献します。

計報 周藤博医師 80歳

6月16日(火)逝去されました。太田協立診療所で長年医師として地域の医療に貢献されていきました。謹んでお悔やみ申し上げます。

生前、診療の第一線を退くにあたり、引退のご挨拶を寄せて頂けておりましたので、これを掲載し、お別れの挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

2020年6月



周藤 博

この度、太田協立診療所(群馬中央医療生活協同組合)を退職するとともに、診療の第一線からも引退することとしました。昭和52年(1977年)の太田協立診療所開設から始まり、病院、そして再び現在の診療所となり今日に至るまで、実に多くの患者さんや組合員のみならずと診察室や班会や地域活動等を通じてお付き合いさせていただきました。本来ならお一人お一人に、ご挨拶をさせて

いただいたのです。が、体力の衰えもあり、書面をもっての退任のあいさつとさせていただきます。お許しください。太田地域に医療生活協同組合を立ち上げた運動は、昭和50年の第1回準備会を皮切りに本格的な準備が開始されました。昭和52年12月の診療所開設まで医療座談会や組合員拡大が旺盛にとりくまれました。が、当時は「医療」生協を「衣料」生協と間違える方もおり、建設までの道のりは大変なものでした。そうした苦勞の末、船出した太田協立診療所ですが、私の記憶が正しければ、職員数9名(医師1名、看護師3名、放射線技師1名、臨床検査技師1名、事務3名)、内視鏡やテレビレントゲン等を備えた当時としては重装備の診療所としてスタートしました。最初の患者さんは内科が7人、小児科が24人の計31人で、最初の患者さんの診療が終了するまでに2時間もかかってしまっ

たことを記憶しています。診療所は、昭和62年に病院化しました。当初50床の計画だったのが、法人全体の財務問題と医師体制の制約から25床での病院化でスタートせざるを得ませんでした。法人理事会、地区理事會、職員會議は、文字通り「大紛糾」しました。その後32床に増床し、現在は再び診療所となり今日に至ります。この40年余の期間、大変な苦勞と困難の連続でした。もちろん主体的な力量の問題として、医師体制や管理運営の未熟さもあり、経営的にも苦勞しました。しかし、より根本的な問題は、目まぐるしく変わる国の医療政策にあり、それに翻弄されながらも懸命に対応してきた歴史でもあります。退任にあたり、これまでの医療活動を振り返り、2つのことに触れさせていただきます。第一に、患者さんと組合員さんの要求を実現できるように一杯の努力をしてきたことです。医療の主役は患者さんであ

り、その患者さんの願いに可能な限り「寄り添う」ことができるよう努力してきました。特に平成2年(1990年)は私自身の変化も含め大きな転機となりました。当院に通院する患者さんに対し、慢性疾患患者調査を皮切りに、初めての医療活動方針の作成、検査の外注化、院内約束検査の実施をしました。設備整備として、CT設置や骨密度測定装置の導入、医療内容においてはC型肝炎に対するインターフェロン療法の実施、大腸ポリペクトミーなど、医療活動の幅を広げました。この時期、今では当たり前の考えとなつている「インフォームドコンセント」、医療生協でいえば「患者の権利章典」がクローズアップされ始めた時期と重なります。これらの取り組みの集大成としての1995年の新病棟(32床)の開設、東長岡訪問看護ステーションたんぼの開設、1997年のデイケア(今の通所リハビリテーション)の開始、1999年の在宅介護支援

センターの開設は、現在の太田協立診療所の医療と介護の中身の原型をつくつたものと思います。第二に、医師会活動への参加と行政との連携です。私自身多忙な診療の傍らで、介護保険委員会委員、医師会訪問看護ステーション開設委員、予防接種対策委員会委員、胃癌検診読影委員会委員、内科医会役員、要介護認定審査委員会の活動に携わってきました。当時は診療体制の制約もあり、多くの民医連や医療生活協の医師の多くが医師会の活動に積極的にかかわれない状況がある中で、自分としては、意識的に医師会や行政との連携の強化を位置付けてきました。医療や介護は国の政策により左右される部分もありますが、主戦場はそれぞれの地域であり、地域の病院や診療所の先生方との顔の見える関係で連携することが重要だと考えたからです。これから時代も、ますます医師会や行政との連携を意識していく時代になつてい

と思います。是非、地域の中で一目置かれる太田協立診療所になるよう期待したいと思います。以上、略儀ながら退任のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。



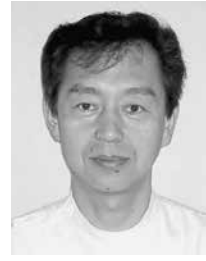
第69回通常総代会 規模縮小で開催

規模縮小で開催

群馬中央医療生活協同組合第69回通常総代会が、6月20日(土)に開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮し、生協会館組合員ホールにて、規模縮小で実施しました。総定数215名中、出席総代209名(書面議決199名・委任状0名)で、1号議案(2019年度活動のまとめ、事業報告と決算関係書類承認の件)、2号議案(2020年度基本方針、事業計画と予算承認の件)、3号議案(役員報酬決定の件)について賛成多数で可決承認しました。

深澤尚伊医師は、長く前橋協立病院小児科の科長として、また協立病院長としての役割を果たしてこられ、昨年より医療生協の副理事長に就任しております。

副理事長 退任の御挨拶



深澤 尚伊

任期はあと1年あるのですが、体調不良のため不本意にも、退任せざるえなくなりまして、現職の医師としての仕事もこの6月いっぱい退任することを決意いたしました。せつかくの癌の早期発見ができながら、悪性度が高い事を告げられ、改めて様々な視点からの「生きる意味」を切実な課題として、日々を過ごしております。

半世紀近くの関係です。大学病院の実習では、臨床を学んだという実感がつかめず、最終学年の夏休みに1週間、前橋協立病院小児科の実習でお世話になりました。まだ、群馬のどこにも新生児用人工呼吸器の導入がされていなかった時期です。小児腎臓病の典型的な患者や、早産で1500g前後の未熟児を主治医とともに診察させていただき、腎臓病の子ども達とは、院内での学習支援も行いました。卒業後は、群馬大学付属病院の医局に入らず、群馬民医連の研修医となり、前橋協立病院で研修を開始しました。最初の1週間は、「あゆみ保育園」で健康な子どもとの関わりから始め、その後も、産婦人科・精神神経科・東京渋谷での自由な初期研修を謳歌しました。

動を行うなど、時間外医療は公的責任で解消すべきと訴え、夜間急病診療所の開設に結び付いたことも思い出深い記憶です。

「退院したら病院の役割は終わり」という時代、訪問看護が制度として整備されていなかった時から、無償でそれを実践し、「年に1回は外でお楽しみ会」として、若葉のつどいが開催されてきました。その後、この活動が診療報酬として認められるようになり、どの病院でも訪問看護が開始されることになりました。

「無差別・平等の医療」を掲げる民医連の医療機関として、差額室料代は徴収せず、今では保険負担分の窓口支払いを収入の程度に抑え、無料低額診療事業も導入し、金のあるなしで標準的医療を差別されない医療機関の理想のもとに奮闘してきました。そうした中、最も危機的だったのは、2010年に厚生労働省からの通達で「年間入院件数3000件を達成しない病院での医師臨床研修を認めない」とされたことです。前橋協立病院は、それまで年間入院件数2500件から2割増しの500人増を求められました。これは、いくら樂觀的な私でも下を向いてしまいうでしたが、これまでの医療生協の活動から、生協理事会ではあきらめることなく、院所利用推進の議論をしていただきました。

新型コロナウイルス感染症の対応もいつかは必ず落ち着いたものになるのでしょうか、それまでに、こんな医療生協を崩壊させてしまうことは出来ません。幹部の強いリーダーシップと理事会との強い団結。現場職員の具体的な提案。組合員の院所利用促進。どうなるか、という傍観的な疑問から、どうしようという主体者としての取り組みへの行動が不可欠です。



組合員のみなさまへ

群馬中央医療生活協同組合理事会

自分たちの事業所を守ろう！医療・介護従事者を応援しよう！ 地域医療と介護を守り、組合員のいのちとくらしを守ろう！

コロナ危機を乗り越えるための増資運動へのご協力を呼びかけます

今、全国の医療機関や介護事業所では、「いつコロナに感染するかわからない恐怖」と闘いながら昼夜を分かたず医療・介護の提供を懸命に続けています。群馬中央医療生協事業所の職員も、第2波に備えながら、患者・利用者へ寄り添い、地域住民のいのちと地域医療・介護を守るために奮闘しています。

3月以降、当生協では新型コロナウイルス感染拡大に伴う受診や利用控え、自治体健診の延期などにより医療事業の収入は激減、加えて感染対策関連費用の増加も加わり、4月・5月累計で経常利益▲1億2000万円と大きな損失を出しました。職員は経営改善に向けて来院されていない患者さんへの電話かけなどを始めています。このような状況は全国的にも同様の傾向ですが、コロナ感染者を直接受け入れている医療機関への公的財政支援は今のところ見込めない状況です。6月には事業所では首相官邸宛に「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政的支援を求める緊急要請（FAX）」を行いました。

群馬中央医療生協は、いのち・くらしを守るために「無料低額診療事業」など最も困難な人たちに寄り添う取り組みも行っています。

事業所の経営を守り、地域の医療や介護を守り、安心して住み続けられるまちづくりにもつながります。

出資金は生協の財産を構成する自前資金（自己資金）であり、医療生協の経営を支える重要な基盤でもあります。すでに積み立て増資などにご協力いただいている方もいらっしゃるかと思いますが、上記の状況をふまえ、より多くの組合員のみなさまに増資にご協力いただくことを訴えます。

経営基盤を強くしてコロナ危機を乗り越え、医療生協の事業と運動を継続させていくために増資運動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、郵便局から振り込みで出資できるように、振込用紙をご用意いたしました。振込手数料はかかりませんので、ぜひご利用ください。

増資に関するご連絡・お問い合わせ先
群馬中央医療生活協同組合本部
前橋市朝倉町830-1
TEL：027-265-3531

社会福祉法人協同福祉会
特別養護老人ホームほなみ

ほなみだより

第2号



認知症ケアレジストリ についての取り組みの紹介



特別養護老人ホーム
副施設長 山口 怜生

現在特別養護老人ホームほなみで新たな取り組みとして、認知症ケアレジストリ研究に協力させていただくことになりました。この研究についてご説明させていただきます。

国の認知症施策である「認知症施策推進大綱」を推進する調査で、日本に2000人程度いる認知症介護指導者の所属する入居型施設を対象とした調査です。

認知症ケアレジストリ研究について説明する前に、簡単に中核症状とBPSD（行動・心理症状）の説明をさせていただきます。認知症の症状には「中核症状」と呼ばれるものと、「BPSD」と呼ばれるものがあります。

「中核症状」は脳の神経細胞が壊れることによって、直接起こる症状です。例えば、直前に起きたことも忘れる、筋道を立てた思考ができなくなる判断力の障害、予想外のことに対処できなくなる問題解決能力の障害、計画的にものごとを実行できなくなる、いつどこがわからなくなる、ボタンをは

められないなどの失行、道具の使い道がわからなくなる、などがあります。認知症になれば誰にでも、中核症状が現れます。

一方、周囲の人の関わりのおかげで起きる症状を「BPSD」といいます。BPSDは「認知症の行動と心理症状」を表わす英語の「Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia」の頭文字を取ったものです。暴言や暴力、興奮、抑うつ、不眠、昼夜逆転、幻覚、妄想、せん妄、徘徊、もの取られ妄想、弄便、失禁などはいずれもBPSDで、その人の置かれている環境や、人間関係、性格などが絡み合っ

て起きてくるため、それぞれ表れ方が違います。BPSDがほとんど現れない人もいる一方で、かなり激しくBPSDが出てしまうこともあり、介護者が対応に苦慮する症状の多くは、中核症状よりもBPSDと言えるでしょう。このBP

SDの背景には、必ず本人なりの理由があります。

認知症ケアレジストリは、認知症ケアは個性が高いということを前提として考え、その上でBPSDの軽減に資するケアのエビデンス（証拠）を構築することを目指しています。

方法は、BPSDの状態にある認知症の人について、ケアを検討する前の状態及びケアを登録し、2〜4週間実際に提供します。そしてその後の認知症の人の状態を登録します。認知症の人の状態の変化とその時行ったケアを分析することによって、認知症の人の状態ごとに、有効である確率の高いケアを明らかにします。

改善した例、改善しなかった例を多数蓄積し、ADL（日常生活動作）や原因疾患、重症度・原因別に有用である効率の高いケア手法を確立していく取り組みです。

国へ資するのはもちろん、ケアの質の向上や、ご本人の負担軽減など多数のメリットもある取り組みです。これからもこれを取り組んでいく上でケアの一部としてはじめた、園芸療法の取り組みをご紹介していきます。

車いすテニス川合選手

病院をあげて応援

前橋市の車いすテニス選手の前橋市立病院が中心にサポートしていたので、簡単な紹介をさせていただきます。

川合選手は生まれつきの障がい者で車椅子での生活をしており、「特養ほなみ」の

山口が以前活動していたテニス教室へ川合選手が幼稚園の時に通い出したのが始まりです。川合選手は2018年から日本車いすテニス協会の次世代育成強化選手に選ばれています。



群馬中央医療生活協同組合の生協会館4階ホールをお借りしてトレーニングなどに活用させていただきます。理学療法士の間宮さんにトレーニングメニューを作ってもらってご支援いただいています。

次号に詳しい川合選手の紹介をさせていただきます。各地元メディアでも見ることがあるかとも思います。今後ぜひ応援の程よろしく願います。

(山口怜生)

認知症ケアの質向上全国調査

協力施設

本施設・事業所は、認知症の行動・心理症状(BPSD)の軽減に有効なケアを明らかにする「BPSDスポット調査」に協力しています。



本調査は、日本の認知症施策である「新オレンジプラン」を推進する調査です。

調査実施主体：認知症介護研究・研修センター

地域活動アラカルト

地域を訪問し、一人一人を支える役割

六供支部 支部長

普段、地域を訪問していて、ちょっと寄って行って欲しいと組合員に声を掛けられることがあります。組合員の繋がりが地域の一人暮らしの方を支えるきっかけになっています。

近隣に住んでいる高齢の女性の生活が気にかかり何度か訪問しています。一人暮らしで、県外にお子さんがいますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、以前と比べて県をまたいでの来訪が頻回にできない状況が続いています。一人で外に出かける機会が少ない為、足腰が弱ってしまうことが心配されました。支部では7月からウォーキング班を再開しましたが、班の皆とは同じペースでのウォーキングは難しいため、参加は困難です。班会の単位では、支えることの難しい組合員も多くいます。

そこで後日、個人的に利根川の河川敷へ散歩にお誘いしました。河川敷には公園があり、ベンチや木陰があったので、足腰に自信がなかった女性には丁度良い散歩の環境でした。散歩の合間に休憩しながらベンチでお話しする時間も良い気分転換になったようです。

日常場面においても買い物へ行く歩きが大変になりつつありますので、今後助けになれば良いと考えています。

その他にも数件のご自宅を訪問して話を聞いています。一人暮らしの皆さんは、毎日一人で過ごしていることが多く、誰かに話したいことが沢山あるようです。お話を聞くことで心の支えになれることも多いようです。

地域に住んでいるかたの事情を良く把握し、手を差し伸べることのできる普段からの関りが、大切です。人は他人と繋がることで、生きがいや自分の居場所を感じています。

組合員同士の小さな助け合いも、医療生協の生活を支える大きな力です。

班会開けず ストレスいっぱいの組合員へ励ましの便り

宝泉支部 茂木喜美夫

太田協立診療所から遠く離れた宝泉支部は、会議や班会は組合員会館を一切使用せず、太田市の各行政センター、地域集会所を使用してきました。健康チェック・ロコモ体操・踊り・習字・編み物・陶芸など各地域で「わいわいがやがや」班会を行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染防止の様々な規定が厳しくなり、3月以降室内での班会が開けず、組合員からは「群中も何か対策を立てないのですか」とか「早くみんなと会いたい」と言った苦情・要望が出るようになってきました。

このため6月1日に開いた運営委員会では「何か励ましの手紙を出したらどうか。」と意見が出されました。手紙の内容には3月以降の支部活動の概要、新型コロナウイルスの対策、健康相談受付、近いうちに班会で会える日を楽しみにしているとの内容を簡潔に伝えることを決定し、6月2日「はがき」50枚とお知らせ100枚を急遽作成しました。

ハガキとお知らせの郵送は、昨年各班会に参加していた150名近い組合員名簿で住所と氏名を確認し、発送しました。各班長が班名簿を使用し、遠方在住者にはハガキを送り、近隣在住者へはお知らせを手渡ししました。お知らせの末尾には班長自筆で「一言」を書き添えることにしました。ハガキとお知らせは、6月10日までにはほとんどの組合員に届けることができました。

班会に参加していなかったり、今回届けられなかったりした組合員には、7月に「支部ニュース」を発行し、支部の現状をお知らせすることになりました。

21もの班がある宝泉支部は、新型コロナウイルスの騒動で大きな影響が出ています。今回の「励ましの便り」活動で、多くの組合員からは、「もう少しだから頑張らなくちゃね。」といった励ましの言葉をいただいています。小さな手紙の活動でも、組合員に明るい希望を与えることができました。



太田市 田上ノブ子さん



前橋市 木瀬口コモ班 小林千恵子さん

仲間の作品コーナー

禁煙ポスターコンクール 2020年度入賞作品決まる

5・31WHO 世界禁煙デー



佳作 群馬国際アカデミー初等部 新井 月琉



優秀賞 群馬国際アカデミー初等部 新井月彩咲



最優秀賞 相生中学校 為谷 夏光

5月31日の世界禁煙デーに合わせ、群馬中央医療生協の禁煙啓発ポスターコンクールが今年も開催されました。今年度は、新型コロナウイルスの影響が危惧されていますが、複数の応募をいただき、最優秀賞が1作品、優秀賞を1作品、佳作が1作品選ばれましたので紹介します。

みんなの声

クロス・漢字・ワードの ハガキから

(敬称略)

● 新型コロナウイルスによって奪われた生活が、一日も早くもとに戻ることを切に願っています。それにしても政府の対応のまずさ、遅さばかりが目立っています。本当にこの政権に任せておいて、大丈夫なのでしょか？不安感ばかりが募ってきます。

(前橋市 パプロ)

● 理事の新井隆夫さんが言われているように、ウイルスはいつでも存在していて、ウイルスと他の生物(ヒトも)共存共栄していたというのは本当だと思います。ウイルスも根絶やしにするのではなく共存していくのが自然なことだと思います。

(前橋市 ルーシー)

● コロナ下での生活が単調にならないように、日課表をつくり実行したら〇印をつけるようにしています。

(みどり市 須田章七郎)

● 学校が始まりました。とても嬉しいです。

(太田市 あかりん)

● 毎月クロス漢字ワードが楽しみで、この時ばかりはかぞくがまとまり答えを誰が一番先に言うか楽しいひと時です。

(前橋市 ヨウちゃん)

● 新型コロナウイルスの感染拡大を恐れるあまりに行動が委縮し、思考まで萎縮してしまふことを恐れています。

(前橋市 小暮進)

● コロナウイルスの影響で孫の卒業式にも出られず、入学式も中止になり、残念でたまりません。

(玉村町 ピーコ)

● 当たり前だと思っていた毎日の暮らしがとても大切だということや、人権の尊厳を改めて考えさせられました。

(邑楽町 タイガー)

● 手洗いと消毒液の作り方、とても参考になり実行しています。

(前橋市 初夏)

● 新任所長西上さんの挨拶の中に阪神淡路大震災とサリン事件のことが紹介されていましたが、やはり時がたつと忘れてしまふ。人って忘れる動物ですね。

(太田市 春山祐一郎)

● 戦後生まれの自分にとってこれが戦争なのでしょう。通過するときは必ず来る。静かに待とう。

(太田市 坂庭友江)

● 理事長からの緊急声明に胸を打たれました。多少の不便を楽しむ気持ちをもって過ごそうと思っています。

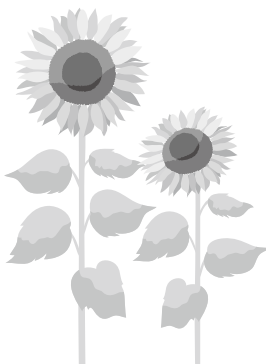
(桐生市 カマジイ)

● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、突然休職を言い渡され、現在に至っています。うつらない、うつさないを念頭に今、自分の出来ることを実行し、一日一日大切に過ごしたいと思います。

(伊勢崎市 みよちゃん)

● 自粛慣れして、出かけることが少なくなりました。一人住まいなので、声を出して人と話するのはスパーの店員さんと一言くらいです。気軽に、誰でも足をのぼせ、お茶を飲み、会話が出来るような場がとても必要に思います。

(前橋市 本田尋美)



第14回生協ほなみ句会 2020・6

紫陽花に見惚れ時去る石畳
浮草を追って真愛し金魚かな
あいさつを交してつばな流しかな
孝行もせずにされにし彼岸入り
いたわりの余韻一日風薫る

早織
亜由美
星子
康夫
小夜子

第122回あずま支部俳句会 2020・6

コロナ禍や気がつけばもう真夏日に
涼風の窓辺の猫の死んだ振り
上り詰さまよう曇芽凌霄花
コロナ禍で今年のアッシュヨンスマスクかな
山の家レンゲつじにおもいよせ
アイリスや不要不急に満開に

和子
星子
丑男
こやぎ
博楽夫
麗子

投稿

【俳句】

七回忌コロナウイルス席空けて

克ちゃん

夏つばめ世界遺産の製糸場
稼働の期まつ刈取機麦の秋

中島毅峰

女校生笑う声して白木蓮
幼らに追いこされ行く春の道

田中八重子

夏草の茂見に映えるあじさいかな
ごろ寝して片頬むぐす初夏の風

伊藤ミツ

【川柳】

アベマスクほつれた糸が3センチ
貧富の差くつきり出そうテレ学習
兵隊も兵器もコロナにや役立たない

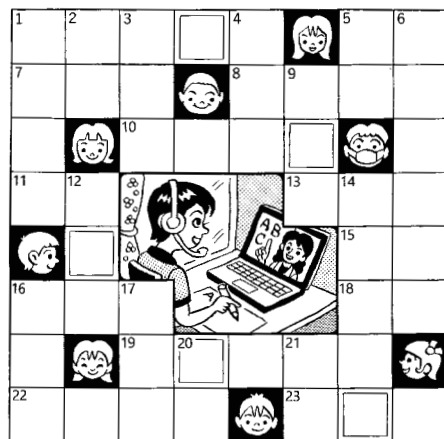
堀泰雄

【解き方】

イラストをヒントにして、二重ワクの○文字をうまく並べてできる言葉は？

クロス・漢字・ワード

<第251回>



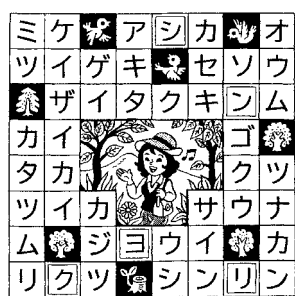
「タテのカギ」

- 1 車に乗ったまま買物物がでさる……スルー
- 2 全国至る所……浦々
- 3 旅行記のことです……文
- 4 食通ですね
- 5 生産量日本一は北海道
- 6 ダイヤモンドの和名
- 9 南瓜はカボチャ、西瓜は？
- 12 愛媛の今治や大阪の泉州が有名です
- 14 日本語では「夜想曲」
- 16 暑い季節に活躍します
- 17 働く人が賞金以外に会社などから受け取る……厚生
- 20 人生には苦みありますが、これもあります
- 21 バンダは「……を食べる者」を意味するネパール語とか

「ヨコのカギ」

- 1 無人補給船こうのとりが国際宇宙ステーションと……
- 5 ……抜けに明るい性格
- 7 「狐虎」って読めますか？
- 8 オレオレ詐欺の防止に……
- 10 電話が効果的といわれます
- 10 ベートーベン作曲の交響曲
- 11 木に登るって、本当？
- 13 柔道の父。……治五郎
- 15 ないと思っても、あります
- 16 自分で言う……サービス
- 18 華厳、那智、袋田といえは
- 19 本来は果実や花の房のこと
- 22 陸も水上も走る……両用車
- 23 ……両成敗

《第250回の答え》 シンリョク(新緑)



「ド」と明記。住所、氏名(匿名を希望の方はペンネーム)を必ずお書き下さい。

御意見・投稿等もお寄せ下さい。

《しめきり》

二〇二〇年七月二十七日当日消印まで有効

《送り先》

〒三七一〇八一 前橋市朝倉町八三〇の一。群馬中央医療生協くらしと健康係

《応募方法》

解答・官製・私製はがきを使用。「第251回クロス漢字ワード」に図書券五〇〇円分を進展

2020年度 自治体健診 ただいま予約受付中！



延期となっていました前橋市・太田市の 健診は7/1から始まりました!!

※桐生市は、6月から実施しています。
引き続き宜しくお願い致します。

ご予約・お問い合わせは

前橋協立病院健診室	TEL027-265-3511 (代表)
前橋協立診療所	TEL027-231-6060 (代表)
太田協立診療所	TEL0276-45-4911 (代表)
桐生協立診療所	TEL0277-53-3911 (代表)
	平日 9:30~16:30

前橋協立病院からのご案内

- ・前橋市から交付される受診シールを使って、無料で受けられます。
- ・新型コロナウイルス感染症の対策を十分に行った上で実施しています。
- ・前橋協立病院は、がん検診を含め、全ての健診項目が受けられる市内でも数少ない医療機関の一つです。

まずは病院までご連絡ください。

群中リレートーク

2020年は図らずして新型コロナウイルスが世界中で流行し、大変な猛威を振るっています。感染拡大対策として、不要不急の外出を控え、人と人との接触を極力減らさなくてはならない状況が数か月にわたり続いています。リレートークコーナーを設け、新型コロナウイルス感染拡大の現状や生活への思いを皆で共有し、繋いでいきます。



理事 関口 治重

コロナ感染に依る活動の仕方

こんな事態になるなんて思いもしなかったと誰もが思っている事でしょうね。でも、こんな時に何をどうしたらいいのか、本当に行動の取り方に戸惑いを感じている中で、今、自分がとっている事は、まず、行動に責任をとれる様に気を付け、その中で今、自分が取っている行動は、自分の周りの人達に声掛けを積極的にする事です。例えば班会のメンバーに対する様子見の為の声掛けをして、状況を聞く事です。「早く皆に会いたいね、気がおかしくなっちゃんだよ」とかね。若い世代の家庭には外に出ている事が多く、子供達と散歩や庭での食事等で逢える機会が多く、健康の事、病院の対応の仕方等を話したりしています。1日3人、4人位は話しているかな。もちろん、接し方には充分気をつけてはいます。これからも自分の行動を続けていくつもりです。自分の健康の為の散歩とやっていきます。早く皆の元気な姿をみたいですね。



理事 福原 良行

この状況(コロナ感染)において 組合員としておもうこと

いつ自分がかかるのだろうかと不安、そして、朝目が覚めたとき額に手を当て、今日も熱が無いから「今日も大丈夫」と思う日々でした。
妻がマスクを作り、デイサービスや知り合いの高齢者、外国人にプレゼントしましたが、次第に材料を手に入れづらくなりました。
今回もまた、「常に非常事態に備えて置く」、「自分は自分で守る」ことの大切さを、思い知らされました。

理事会だより

●5月23日(土) 定数人30中27名の出席で第13回理事会を開催しました。

主な議題

- ① 会務報告に関する件
 - ② 専門委員会に関する件
 - ③ 第69回通常総代会の審議に関する件
 - ④ 組合員活動表彰に関する件
 - ⑤ 監事報告に関する件
 - ⑥ 2020年度活動当面の重点課題に関する件
 - ⑦ 取引金融機関決定に関する件
 - ⑧ 長期運転資金借入金に関する件
- 以上、報告・協議の上、提案どおり承認しました。

群馬中央医療生協はいま (2020年5月末)

組合員	35,545人
前橋・伊勢崎地域	組合員：26,492人
太田・館林地域	組合員：5,997人
桐生・みどり地域	組合員：2,918人
その他の地域	組合員：138人
出資金	9億5,700万900円
一人平均出資金	26,924円

前橋協立病院 前橋市朝倉町828-1 ☎ 027-265-3511 (代)

2020年7月1日現在の診療体制
病院・診療所とも第2土曜・日・国民の休日は休診

		月	火	水	木	金	土
内科	午前 予約外	内科医	野本	高柳	内科医	内科医	大宮 瀧口道 鈴木(第1/4/5週) 西上(第4週) 三浦章(第1週) 呼吸器:三浦陽(第1週) 砂長(第3週) 糖尿病・甲状腺:渋沢(第4・5週) 循環器:森(第3/4週) 循環器:中島(第3週) 神経・リハビリ:大竹(第3週)
	午後 予約外	大宮	工藤瑞	大宮	内科医	内科医	田ヶ原 心療内科:鈴木 橋爪洋 循環器:小保方(第1/3/5週) 糖尿病・甲状腺:登丸
	夜間 予約外		鈴木	石川 三浦章		西上	
小児科	午前 一般外来	矢島 齋藤	矢島 井汲	齋藤	矢島 井汲	矢島 齋藤	井汲 齋藤(第1) 佐藤(第3/4/5)
	午後 専門外来	アレルギー:矢島 (第3週休診) 精神衛生相談:角田	乳健3週間・予防接種:齋藤 井汲 (第4週は午後3時迄)	乳健3ヶ月・予防接種:井汲 (第3休診)	アレルギー:矢島 (第3週休診) アトピー教室:矢島 (第3週のみ) 精神発達:齋藤	乳健9~10ヶ月・予防接種: 井汲(第1/3/5休診) アレルギー:矢島 精神衛生相談:角田	
	夜間 一般	矢島	井汲	齋藤	齋藤	井汲	
産婦人科 産科	午前 婦人科	小松	白石・小松	白石・小松	小松・北原	白石・北原	北原(第1/3週) 西出(第4週) 白石(第5週)
	午後 婦人科	小松	白石(第3・4週は午後3時迄)	休診(手術)	小松・北原(14:30~)	白石・北原	
	夜間					北原(17:00~18:30)	
外科	午前	山口	飯島哲	飯島哲	飯島哲	大島	休診
	午後					長岡(予約制)	
整形外科	午前	岩森	岩森	岩森	栗原	岩森	岩森(第2/4週休診)
	午後					栗原	
眼科	午前	山田	森	森	山田	山田(隔週)	休診
	午後		手術	森			
皮膚科	午前				工藤隆		
内視鏡	午前 胃	安達	柿崎	高草木	安達	植原	交替制
	午後 腸		橋爪真	山崎	橋爪真		
健診	午前	大宮	伊藤	矢島	伊藤	須藤	
	乳腺・甲状腺		飯島 AM	飯島 AM	飯島 AM		
小児科受付時間	午前8:00~11:30 夕方16:45~18:30(月~金)			その他の科の受付時間		午前8:00~11:30	救急患者さんにおかれましては、 この限りではございません。 電話にてお問い合わせ下さい。
産婦人科受付時間	午前8:00~11:00 ※予約優先 午後14:00~16:00 (初診予約可)					午後14:00~16:00	

太田協立診療所 太田市石原町927 ☎0276-45-4911

前橋協立診療所 前橋市城東町3-15-28 ☎027-231-6060

受付時間	月	火	水	木	金	土
AM 8:30~12:00	加藤 遠藤(第1・3・5) 朱(予約)(第2・4)	加藤 遠藤	加藤 遠藤	遠藤 小泉 岡田	加藤 遠藤	第1週 遠藤 吉岡 第3週 加藤 堀口 遠藤 第4週 加藤 吉岡 第5週 遠藤 吉岡
PM 15:00~17:00	遠藤(16時まで) (第1・3・5) 小泉	小平	宮平	遠藤(第4・5) 坂本	加藤	
夜間 17:00~		加藤				
往診	加藤	加藤 遠藤	加藤		遠藤	
内視鏡	櫻井	小平		坂本		小澤

	月	火	水	木	金	土
午前(予約制)	高柳 井上(27日休診) 桑原(6日休診)	高柳(11時まで) 井上(28日休診) 谷口	井上 谷口	高柳 谷口	高柳 井上 桑原(3日休診)	4日:高柳 18日:谷口 25日:井上
午後	高柳 15時30分~17時	桑原 (7日井上) 14時30分~17時	桑原 (1日谷口) 14時30分~17時	井上 14時30分~17時	桑原(3日井上) 14時30分~17時	
夜間	高柳 17時~ 18時30分				井上 17時~ 18時	

*午前の受付時間: 8時30分~12時
*午後の受付時間: 15時30分~17時(月) 14時30分~17時(火)~(金) *レントゲン: 月~金曜日の午前中
*夜間の受付時間: 17時~18時30分(月曜)、17時~18時(金曜)
*休診: 土曜日午後・第2土曜日・日曜日・祭日・年末年始

※PMの外来は医師によっては16:00~になります。

桐生協立診療所 桐生市相生町2-554-7

予約制(予約外受付可) ☎0277-53-3911 (予約電話)

受付時間	診療開始	月	火	水	木	金	土
午前8:30~12:00	9:00~	西上	小林(第1~5) 西上(第2~5)	西上	鈴木 (第4休診)	小林	西上(第1・3) 片岡(第4・5)
午後15:00~17:00	15:30~	西上	(第1)休診 西上(第2~5)	西上	西上		
夜間17:00~19:00	17:00~				西上 (第2,4のみ)		

※往診も行っています※ 第2土曜 休診
介護に関する問い合わせ TEL:0277-53-3912
無料送迎実施中 (当生協組合員のみ、事前登録必要)

協立歯科クリニック 前橋市朝倉町830-1

☎027-265-6601

	月	火	水	木	金	土
午前 8:40~12:00	半澤	半澤 (偶数月第3休診)	半澤 (第1,2,3,5)	半澤	半澤 (第2,3,4,5)	半澤 (第1,3,4,5)
午後 月・火・水・金 木 14:30~16:30 13:30~16:30	萱間	萱間 (偶数月第3) 堀口	萱間 (第2,3,4,5)	萱間	萱間 (第1,奇数月第3)	萱間 (第2,4,5)
夜間 17:30~20:00 (休診は17:00~20:00)		半澤 (偶数月第3)			半澤 (第1,奇数月第3)	萱間 (第2,3,4,5)

*歯科医の研修等で変更になることがあります。担当制を希望される方は、お手数ですが事前にお問い合わせ下さい。
*待ち時間をなくすために、予約制になっております。お電話で予約できます。
*診察時間中の急患は随時受け付けておりますので、ご連絡ください。
*訪問診療をご希望の方は、お問い合わせ下さい。

すは、あくまでも、基本体制のため、診療月によって、祝祭日、休日の取得等による変動がありますのでご了承ください。